

16 岩の裂け目に住む者、丘の頂を占める者よ。 おまえの脅かしと高慢は、 おまえ自身を欺いている。 鷲のように巣を高くしても、 わたしは、おまえをそこから引きずり降ろす。 —【主】のことば。]

17 エドムは廃墟となり、そこを通り過ぎる者はみな呆気にとられ、そのすべての打ち傷を見て嘲笑する。

18 ソドムとゴモラとその近隣の町々が破滅したときのように—【主】は言われる—そこに人は住まず、そこに人の子は宿らない。

19 「見よ。獅子がヨルダンの密林から 常に潤う牧場に上って来るように、わたしは一瞬にして彼らをそこから追い出し、 選ばれた人をそこに置く。だれがわたしのようなであろうか。 だれがわたしを呼びつけるだろうか。だれがわたしの前に立つことができる 牧者であろうか。」

20 それゆえ、聞け。 エドムに対して立てられた主の計画を、 テマンの住民に対して練られた策を。 必ず、彼らは、群れの中の小さいものまで 引きずって行かれ、必ず、彼らの牧場は彼らのことで恐れ惑う。

21 彼らの倒れる音で地は震え、 その悲鳴は葦の海でも聞こえる。

22 見よ。彼は鷲のように舞い上がっては襲いかかり、ボツラに敵対して翼を広げる。その日、エドムの勇士の心も、産みの苦しみにある女の心のようになる。

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2022年 7月 3日 (日)

礼拝メッセージノート

「 エドム人への預言～異邦人への裁き⑤ 」

| エレミヤ書講解・89 | エレミヤ書49：7～22 | 小野寺 望 牧師

【 エレミヤ書 49章 】

7 エドムについて。万軍の【主】はこう言われる。

「テマンには、 もう知恵がないのか。 賢い者から分別が消え失せ、彼らの知恵は朽ちたのか。

8 デダンの住民よ、逃げよ。そこを離れよ。 深く潜め。

わたしが彼の上にエサウの災難を、 彼を罰する時を、もたらすからだ。

9 ぶどうを収穫する者が おまえのところに来るなら、

彼らは取り残しの実を残さないだろう。 盗人が夜中に来るなら、

彼らの気がすむまで荒らすだろう。

10 しかし、わたしはエサウを裸にし、 その隠れ場をあらわにし、 身を隠すこともできないようにする。 彼の子孫も兄弟も隣人も 踏みにじられ、彼はいなくなる。

11 おまえのみなしごたちを見捨てよ。 わたしが彼らを生かし続ける。 おまえのやもめたちは、 わたしに抛り頼まなければならない。」

12 まことに【主】はこう言われる。「見よ。その杯を飲むように定められていない者でも、それを必ず飲まなければならないのなら、おまえだけが罰を免れられるだろうか。罰を受けずにはすまされない。おまえは必ず飲まなければならない。

13 まことに、わたしは自分にかけて誓う—【主】のことば—。必ずボツラは恐怖のもと、そしりの的、廃墟、そしてのしりの的となる。そのすべての町は、永遠の廃墟となる。」

14 私は【主】から知らせを聞いた。 「使者が国々に送られた。 『集まって、エドムに攻め入れ。 戦いに向けて立ち上がれ。』

15 見よ。わたしがおまえを国々の中の小さい者、 人に蔑まれる者としたからだ。

(4ページへ続く)

◆ はじめに ～神の選びと重い責任は表裏一体

1. エドムはモアブ・アンモンと違い、さばきを受けて回復することがない民族

(1) 3つの民族の共通点は、イスラエルの親戚（アブラハム契約に近い）である点。

2. アブラハム契約に近いとは

① 契約の民そのものではないが、イスラエルを通してより豊かな祝福を受ける。

② 契約の付帯条項は有効であり、かつ他の異邦人以上に従うことを期待される。

3. エドムへのさばきは、なぜモアブ・アンモンに比べて厳しいのか

① エドムのイスラエルに対する行為は、実際に敵意に満ち、悪質であった。

② 神への不従順の結果：なお具体的に論じると・・・

* アブラハム契約の付帯条項に基づいており、また応答しなかった結果である。

③ 彼らへのさばきの預言は、今も続いている。

◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 神の恵みを侮らない

* このメッセージは、エドムへの怒りの杯の恐ろしさと、メシアの贖いを覚えるものである。



I エドム人へのさばき（7～13節）

1. エドム人とは

(1) エドム人はエサウの子孫で、モアブの南側、死海の東側に住んでいた。

① セイルの山地 創36：8 ② イスラエルを知り、恐れる。出15：15

③ アブラハム契約に近い（イスラエルの親戚）民族である。申23：7

(2) 歴史上、エドムはユダと紛争を繰り返し、ユダに敵対する異邦人の象徴になる。

* イスラエルを通さない。青銅の蛇事件が起こる。民20：18～20、21：4

* 1サム14：47、エゼ35：1～15、36：5、オバ1：15～16、哀4：21～22等

2. 頑なな民へのさばき

(1) テマン人の知恵も、エドムを神の怒りから救い出すことはできない。

* テマン人を知恵ある者と見られた。ヨブと論争したエリファズもテマン人。ヨブ2：11

(2) デダン（エドムの南東、アラビア半島の北部にある交易が盛んな町）の崩壊。

* デダンの住民に、避難勧告が出される。神がエドムの上に災難をもたらすから。

3. さばきの特徴

(1) 容赦ない苦難が伴う

① 収穫する者はぶどうの実を残さない。② 夜中に来る盗人は気の済むまで奪う。

* そのように、エドムには、みなしごとやもめ以外には何も残されなくなる。

(2) 免れようのないさばき

① ユダと血縁関係のない国々でさえ、ユダの滅びを喜んだので、さばかれた。

→ エドムが神の怒りの杯を飲むのは当然であり免れ得ない。

* 終末におけるメシアの支配 民21：14～、申30：7、オバ1：15～21

II エドムの高慢が砕かれる（14～22節）

1. 国々への招集

(1) 神は国々の間に使者を送り、エドムとの戦いに立ち上がるように命じる。

* これは、神の行動を、外交用語を用いて比喩的に描写したものの。

2. エドムのプライドと滅び

(1) エドムの高慢は、自分たちは自然の要害に守られているという点にあった。

* ボズラ（今日のペトラ） オバ1：1～9

(2) 神は、その高慢を打ち砕き、彼らを高い岩地から引き下ろされる。

* エドムはソドムとゴモラのように破壊させられる

(3) 神の御手：神は獅子のように現れ、エドムをその地から追い出される。

① 獅子（神）の進撃を食い止めることのできる牧者（王）は、ひとりもない。

② その結果、群れの小さい者（エドムの子どもたち）まで引きずって行かれる。

③ 彼らの牧場（エドムの地）は破壊される。

(4) 彼らの叫びは葦の海まで届く。

* 神の民を攻撃した民（エジプト）が初めて破滅を経験した場所。

(5) 敵は鷲のようにボツラに襲い掛かり、そこを破壊する。

* 住民たちの心は、産みの苦しみをする女の心のように萎えてしまう。

3. 希望のない結末

(1) エドムには将来の回復の預言が与えられていない。

(2) モアブ人、アンモン人とは大いに異なる結末。

(3) 神が彼らの罪を重く見ており、またそれを思い通りに成すお方である。

◆ まとめ：神の恵みを侮らない～民族と個々人への怒りの杯

(1) 今も神の計画の計画は進行中である。

① エドム滅亡の預言：中間時代に成就。

* 砂漠の民であるナボテア人がエドムの地に侵入し、エドム人を追い出した。

② エドム人はユダの地の南部に移動した。* ハビロンから土地をもらう 哀4：21～22

③ 彼らはその地でイドマヤ人と呼ばれるようになった。

* 前125年、ヨハネ・ヒルカノスI世（ハズモン朝の祭司王）は、イドマヤ人を征服し、彼らにユダヤ教を受け入れさせた。因みにヘロデ大王はイドマヤ人。

④ エドム人が一つの民族として生存することはなくなった。怒りの杯は成就した。

⑤ エドムの民の滅びを決定づけたアブラハム契約は、今も機能している。

* 神は罪人の咎と思惑をすべてご存じであり、さばきも字義通り用意されている。

(2) 適用：クリスチャンにとっての今「恵みの時」 2コリ6：2、2ペテ3：9

① 罪人一人ひとりに用意された「怒りの杯」は、本来免れ得ないものである。

② それを代わりにメシアが飲まれたことの素晴らしさを知り、信仰で受け取る幸い。

③ 「救い」とは、新約を通してアブラハム契約の霊的祝福に繋がることである。